



馬車道通信

ボランティアマネジメント講座

青少年をボランティアとして受け入れるときの考えを学び 団体・施設とボランティアのよりよい関係づくりについて考えます。

- 日時：6月12日(木) 9:30~12:00
- 会場：横浜市青少年育成センター 第1研修室
- 対象：青少年に関わる施設や団体のボランティア受け入れ担当者、またはボランティア受け入れに関心のある方。
- 定員：30名 <5/13(火) 10:00~先着受付>
- 参加費：500円(資料代)
- 講師：平野嘉昭(公益財団法人よこはまユース業務執行理事)
- 申込み/問合せ：横浜市青少年育成センター「ボランティアマネジメント講座」係 氏名・連絡先・所属をお伝え下さい。



新しいスタッフです！
よろしくお願ひします。



関西出身、やぎ座、AB型の齋藤和子です。

明るい笑顔で皆様をお迎えし、青少年の成長をサポートするセンターづくりを目指します！

お知らせ...



次回号より育成センターのスタッフ一人ひとりの「つぶやき」コーナーが似顔絵と一緒に始まります。何をつぶやくかは・・・お楽しみに！

受付で似顔絵と同じスタッフを見かけましたら「読んだよ!」とお声をかけてください。利用者さんと私達スタッフのちょっとした話題になったら楽しいですね！



避難・誘導訓練を実施しました！

- 3月20日(木)実施
- 参加者：1団体5人、スタッフ10人
地震による地下2階スタジオからの出火を想定し下記の訓練を行いました。

今回の訓練は「職員が2人しかいない」「夜間」に震度5の地震が発生しそれに伴いスタジオの電源ショートし火災が発生したという想定です。

限られたスタッフの人数と時間の中で、何を優先してどのように分担し避難誘導を行うか、判断することに重点を置いています。

災害時の状況に近づけて実施するため、地下2階部分の照明を落とし、また、同日ご利用の団体の方たちにご協力していただきました。

訓練を重ねることで細部の問題点も挙げられ、今回は誘導中にスタッフと利用者さんの区別がつくようにスタッフジャンパーを着用してスムーズな避難誘導につなげることになりました。「イザ!」という時にブルーのジャンパーを着ているスタッフに利用者さんのご協力をお願いします。

これからも定期的に避難訓練を行っていき、いつ起きるかわからない大災害に備えたいと思います。この度、訓練に参加していただいたご利用者の「横浜PHPほんとうの時代 友の会」様、ありがとうございました。

※育成センターは災害時等に帰宅困難者一時滞在施設として使用されます。



利用者さんの広場

～育成センター利用者さんの活動やインタビューをご紹介します！～

『吟詠同好会』（第2研修室・ミーティング・和室利用）

吟詠同好会のメンバーの職業はいろいろです。漢詩、詩吟の研究また歴史の研究も行っています。発声を通して健康にも気を使っています。

県内の公共施設を利用して年2回の発表会、講習会を行っています。

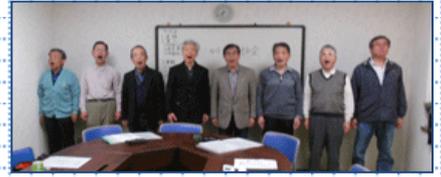
<高橋さん：吟詠同好会代表 談>



若い人へのメッセージ・・・

漢詩・和歌・短歌等を通じ歴史を学び、漢字と日本語の成り立ちを勉強しています。

いつでもオープンな会です。若い方たち、一緒に学びましょう！



馬車道コラム Vol.24 「かつ丼ブルース」



「かつ丼」が好きだ。いつも「食べたいなー」と心の中で恋焦がれているのだが、やはり健康のことが気になって自制心が働いてしまう。ここで言う「かつ丼」とは、豚カツを玉ねぎと一緒に、出汁と醤油や砂糖などを合わせた割下で煮て、溶き卵でとじる「かつ丼」のことである。

「かつ丼」と言えば、テレビの人気番組「笑点」の三遊亭小遊三師匠ではないが、刑事が取り調べる時、容疑者から自白を誘導するシーンでよく出てくる。でも本当のところ、このようなシーンはあり得ないらしい。

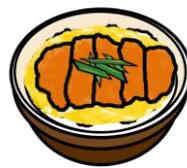
「かつ丼」はもともと高級な食べ物ではない。今も昔も、誰もが気楽に食べることができる、庶民の食べ物である。私が愛してやまないジャズも本来は誰もが気楽に親しめる音楽である。最近では、有線放送でジャズを流しているお店も少なくないし、テレビコマーシャルにも多くのジャズ・スタンダード

が使われている。

かつて昭和30年代、「ファンキー・ジャズ」が流行った時代があった。ジャズ・コンサートを目当てにファンが数寄屋橋の日劇を2～3周巻いたとか、蕎麦屋の店員が出前をしながらアート・レイキーの「モーニン」を口ずさんでいたとか、当時のジャズブームを象徴するエピソードが未だに語り継がれている。

馬車道で「かつ丼」を食べるなら、かつて東宝会館があったビルの路地を入ったところにある「H」というお店がランチメニューとして出している。豚汁がついて750円前後で、親子丼やかつ丼などを食べることができる。

「あーあ、かつ丼が食べたい！」
(ジャズおやじ)



不思議なパタパタ絵本をつくらう



ページをめくるごとに無数のストーリーが生まれる不思議なパタパタ絵本をつくりたい。この講座で、絵本のヒミツやユニークな製本の方法を知って、自由に楽しく絵本づくりをしましょう。はじめてでも大丈夫です。つくりかたをおぼえたら、かわいいメモ帳やグリーティングカードなどにも応用できます。

【第1部】講義：絵本のヒミツ
絵本をつくらっているパーツの役割や名称、画面にかくれた表現技術など絵本のヒミツのお話をします。

【第2部】制作：絵本をつくらう
自由に絵を描いて、簡単な製本方法で絵本をつくりたい。

■日時：7月26日（土）9：30～15：30

■会場：大場みすずヶ丘地区センター
(横浜市青葉区みすずヶ丘23-2)

■対象：中学生・高校生

■定員：25名

■参加費：500円（材料費）

※昼食は各自でご用意下さい。

■講師：宮崎 詞美

■問合せ：大場みすずヶ丘地区センター
TEL/045-974-0861

締切日
7月11日(金)

【お申込み/お問い合わせ】※感想や情報をお寄せ下さい。

横浜市青少年育成センター/ TEL：045-664-6251 FAX:045-664-6254 E-mail: ikusei@yokohama-youth.jp

